

みんなでまなび、 つたえよう！

東京大空襲

どうきょうだいこうしゅう

2023 年
夏休み
特別企画

子どもも、おとなも、みんなでいっしょに参加できる、夏休みのイベントです！
ことしも、東京大空襲をテーマに、つぎの4つの企画をおこないます。

紙芝居 若い世代がつたえる空襲 昔の遊びからまなぶワークショップ 体験者のお話

じっさいに戦争・空襲を体験した人（体験者）や、高校生・大学生たちが、戦争・空襲のことをわかりやすくつたえてくれます。自由研究や平和学習にも役だつでしょう。

ことは4日間とも会場（戦災資料センター）で参加できます。
ぜひ、直接見たり・聞いたりしてみてください。質問や感想の時間もあります。

★★会場参加のほかに、当日のオンライン（Zoom）参加、後日の録画配信もあります★★

くわしい参加のしかたはこのチラシのウラをみてね！

今も、ウクライナでは戦争がつづき、多くの人びとがきずつき、くるしんでいます。
これからの平和をになう、みなさん！

このイベントをきっかけに、戦争・空襲のこと、平和・いのちの大切さについて、
いっしょにまなび・かんがえてみませんか？

8月11日（金・祝）

13:00～15:30

「紙芝居で考える戦争・空襲」

埼玉大学有機農業研究会が紙芝居の実演を通して、戦争を起こさないために何がだいじか、参加者といっしょに考えます。

8月12日（土）

13:00～16:00

「若い世代が伝える戦争・空襲の記憶」

若い世代が、実際に空襲を体験した人にかわって、その体験や思いを、自分たちなりの言葉と方法で伝えます。体験者本人からのコメントも。

8月13日（日）

13:00～16:00

「昔の子どもたちの遊びから学ぶ、
戦争・空襲の時代」

昔の遊び（カルタ）を実際に体験して、そこから戦争中の暮らしや空襲のことを学んでみましょう。それをいかして、自分なりのカルタを作ってみましょう。

※小学生・中学生向けのワークショップです

会場参加
のみ

8月15日（火）

13:00～16:00

「二度の大空襲を生きのびて」

1945年3月と5月の二度にわたって東京で大空襲にあった藤間宏夫さん（当時6歳）が、空襲の体験や空襲後に移り住んだ静岡での暮らしなどを、じっくりお話します。質問もできます。

★終了時間は最長の場合です
★途中での参加・退出もOK

主催：東京大空襲・戦災資料センター 後援：江東区教育委員会